

平成 23 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 23 年 8 月 8 日

上場会社名 日本ファルコム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3723 URL <http://www.falcom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 季洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 阿部 敬史 (TEL)042(527)0555
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 12 日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 9 月期第 3 四半期の業績 (平成 22 年 10 月 1 日 ~ 平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 9 月期第 3 四半期	509	20.4	21		20		11	
22 年 9 月期第 3 四半期	423	17.9	124		123		73	

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 9 月期第 3 四半期	108.86	
22 年 9 月期第 3 四半期	721.13	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 9 月期第 3 四半期	1,686	1,597	94.7	15,659.02
22 年 9 月期	1,996	1,659	83.1	16,267.88

(参考)自己資本 23 年 9 月期第 3 四半期 1,597 百万円 22 年 9 月期 1,659 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 9 月期		0.00		500.00	500.00
23 年 9 月期		0.00			
23 年 9 月期(予想)				300.00	300.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年 9 月期の業績予想 (平成 22 年 10 月 1 日 ~ 平成 23 年 9 月 30 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,250	1.2	200	30.4	200	30.8	125	21.7	1,225.49

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

23年9月期3Q	102,000株	22年9月期	102,000株
23年9月期3Q	株	22年9月期	株
23年9月期3Q	102,000株	22年9月期3Q	102,000株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.2「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2．その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3．四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(第3四半期会計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第3四半期累計期間の製品部門におきましては、ロングランヒット中である「英雄伝説 空の軌跡」シリーズ及び「英雄伝説 零の軌跡」の継続出荷が引き続き好調に推移しました。

また、ロングセラー中の「空の軌跡」シリーズの全3部作「英雄伝説 空の軌跡FC」、「英雄伝説 空の軌跡SC」、「英雄伝説 空の軌跡the3rd」を「PSP@ the Best」シリーズとして発売した他、「イース」シリーズはPSP製品をセットにした「イーススーパープライスセットを発売しました。

その結果、製品部門の当第3四半期累計期間の売上高は398百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

ライセンス部門におきましては、スマートフォン向けライセンスの許諾による収入がありましたほか、各プラットフォームにおけるゲームソフトのダウンロード販売、各種キャラクターグッズ販売、当社が有する3,915曲に及び人気楽曲のiTunes store等の音楽ダウンロード販売サイトを通じた当社楽曲の販売など、当社コンテンツの多方面への展開を推し進めました。

その結果、ライセンス部門の当第3四半期累計期間の売上高は111百万円（前年同期比32.9%増）となりました。

それらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は509百万円（前年同期比20.4%増）、営業損失は21百万円（前年同期は124百万円の損失）、経常損失は20百万円（前年同期は123百万円の損失）、四半期純損失は11百万円（前年同期は73百万円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は1,686百万円となり、前事業年度末と比較して309百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の増加138百万円あったことに対して、売掛金の減少452百万円があったことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は89百万円となり、前事業年度末と比較して247百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少117百万円、買掛金の減少95百万円、未払消費税等の減少23百万円があったことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は1,597百万円となり、前事業年度末と比較して62百万円の減少となりました。これは利益剰余金が配当により51百万円減少したこと及び、四半期純損失を11百万円計上したためであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して138百万円増加し、1,467百万円となりました。各キャッシュ・フローの主な状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は188百万円（前年同期は90百万円の増加）となりました。これは主として、税引前四半期純損失を17百万円計上したこと、法人税等の支払いが115百万円あったこと、仕入債務が95百万円減少したこと、未払消費税等が23百万円減少したことに対して、売上債権の減少が452百万円あったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は63千円（前年同期は2百万円の減少）となりました。これは敷金保証金の差入による支出63千円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は50百万円（前年同期は30百万円の減少）となりました。これは配当金の支払いによる支出が50百万円あったためであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の業績の見通しにつきましては、平成23年9月29日に発売する予定の新製品「英雄伝説 碧の軌跡」の予約状況、及び既発売製品である「英雄伝説 空の軌跡」シリーズ並びに「英雄伝説 零の軌跡」の販売が好調に推移していることから、現時点における予約数及び販売数を踏まえ、平成22年11月10日公表の内容から変更してまいります。詳細につきましては、平成23年8月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業損失及び経常損失はそれぞれ249千円増加し、税引前四半期純損失は775千円増加しています。

（3）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,467,084	1,328,874
売掛金	58,883	510,974
製品	2,353	2,198
原材料	6,035	7,732
その他	68,732	47,092
貸倒引当金	-	3,236
流動資産合計	1,603,089	1,893,636
固定資産		
有形固定資産	12,566	16,277
無形固定資産	7,929	9,887
投資その他の資産	63,077	76,438
固定資産合計	83,574	102,603
資産合計	1,686,663	1,996,240
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,375	119,212
未払法人税等	423	118,235
賞与引当金	5,850	17,250
その他	59,794	82,219
流動負債合計	89,443	336,916
負債合計	89,443	336,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,530	162,530
資本剰余金	317,763	317,763
利益剰余金	1,116,926	1,179,030
株主資本合計	1,597,219	1,659,323
純資産合計	1,597,219	1,659,323
負債純資産合計	1,686,663	1,996,240

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
売上高	423,334	509,774
売上原価	142,068	142,224
売上総利益	281,265	367,549
販売費及び一般管理費	405,965	389,480
営業損失()	124,700	21,930
営業外収益		
受取利息	258	166
未払配当金除斥益	1,139	1,058
営業外収益合計	1,398	1,224
経常損失()	123,301	20,706
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	3,236
特別利益合計	-	3,236
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	526
特別損失合計	-	526
税引前四半期純損失()	123,301	17,996
法人税、住民税及び事業税	397	397
法人税等調整額	50,143	7,289
法人税等合計	49,745	6,891
四半期純損失()	73,555	11,104

（第3四半期会計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	218,187	131,840
売上原価	59,647	44,521
売上総利益	158,539	87,318
販売費及び一般管理費	131,183	135,226
営業利益又は営業損失（ ）	27,356	47,907
経常利益又は経常損失（ ）	27,356	47,907
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	1,637
特別利益合計	-	1,637
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（ ）	27,356	46,270
法人税、住民税及び事業税	132	132
法人税等調整額	11,142	19,413
法人税等合計	11,274	19,280
四半期純利益又は四半期純損失（ ）	16,081	26,990

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（ ）	123,301	17,996
減価償却費	15,278	5,668
貸倒引当金の増減額（ は減少）	9,688	3,236
賞与引当金の増減額（ は減少）	9,900	11,400
受取利息及び受取配当金	258	166
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	526
売上債権の増減額（ は増加）	340,133	452,090
たな卸資産の増減額（ は増加）	14,171	1,542
その他の資産の増減額（ は増加）	10,199	1,451
仕入債務の増減額（ は減少）	46,302	95,836
未払金の増減額（ は減少）	51,651	3,909
未払消費税等の増減額（ は減少）	5,612	23,698
その他の負債の増減額（ は減少）	1,926	1,147
小計	105,629	303,278
利息及び配当金の受取額	258	166
法人税等の支払額	15,014	115,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	90,873	188,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,349	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,349	63
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	30,112	50,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,112	50,076
現金及び現金同等物の増減額（ は減少）	58,411	138,209
現金及び現金同等物の期首残高	1,180,060	1,328,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,238,472	1,467,084

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）セグメント情報

当社はゲーム開発・販売の単一セグメントのため、記載を省略しております。

（追加情報）

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。